



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 中 谷 佳 正  
幹 事 浅 井 晃 会 報 委 員 長 宮 田 正 人



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

R I 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2451  
2020-2-7

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
https://osakajonan-rc.org/  
E-mail:jonan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

### 本 日 の 例 会

2月7日(第1例会)

#### ●表彰・ホームクラブ連続皆出席

岡倉(10) 三木(30) 内藤(10)  
村上(泰)(10) 村上(武)(10)  
奥田(10) 浅井(30) 宮田(10)  
石濱(50) 田中(10) 平田(10)

各会員

#### ●お祝・誕生日

岩永 永井 奥田 佐々木 鈴木

各会員

#### ●結婚記念日

泉 三木 西村 奥田 佐伯 各会員

#### ●会社創立記念日

金山会員

#### ●卓話 「千利休・与謝野晶子と堺」

元堺市博物館学芸課長 吉田 豊氏  
(金山信利会員担当)

### 次 週 の お 知 ら せ

2月14日(第2例会)

#### ●卓話 「国際奉仕について(平和構築と紛争予防)」

地区国際奉仕委員会 委員長 前田要之助氏  
(国際奉仕委員会 濱田由弘委員長担当)

#### ●理事会 11:30~12:10

シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

#### ●クラブフォーラム (国際奉仕)

シェラトン都ホテル大阪 3階 金剛の間

#### ●食膳 <ハヤシライス>

### 次々週のお知らせ

2月21日(第3例会)

#### ●卓話 「日本語あれこれ」

日本学生支援機構 大阪日本語教育センター  
教務主任 磯田郁子様  
(松田振興会員担当)

### 先 週 の 記 録

1月31日(第5例会)

#### ●出席報告

出席会員 35名 (内免除会員 9名)  
会員総数 45名 (同上 15名)  
ゲスト 1名  
ビジター 3名

計 39名

ホームクラブ出席率89.74%

1月17日(第3例会)補正出席率100%(MU5名)

#### ●ゲスト&ビジター (敬称略)

林 晃敏 (卓話者)  
古江暢敏 (広島城南)  
水口弘士 (広島城南)  
高藤孝一 (広島城南)

1月29日(水)RAC例会出席者(敬称略)

村上(泰) 中尾 石濱 西谷

※2月RAC例会開催日

2月5日(水) 2月19日(水)

### ◆ 会 長 の 時 間 ◆

新型コロナウイルス関連肺炎の感染が拡大しています。外出の際には人ごみを避け、うがい、石鹸での手洗い、マスクの着用などで感染を予防してください。さて33年前、大阪城南RCがホストを務めました春のRYLAセミナーの報告をご紹介します。昭和62年5月2日から4日で、今回と同じ大阪府立青少年海洋センターで行われ、受講生151名、ロータリアン100名と多くの参加者で開催されています。報告の最後に次のように感想を述べられています。『RYLAの目的でもある若い人々の中にある指導者としての資質を啓発し、青少年指導者としての知識と技術の向上に資することに少しでもお手伝いできたのなら幸いです。初めて会う若者たちが3日間を通じて少しでも理解しあうことができたのなら、これから会ういろいろな人たちとも理解しあう

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

ことが出来るでしょう。今回のRYLAに参加してむしろロータリアンの方が若者たちと接する機会を得て良かったのではないだろうかと思っています。私たちがお世話したのではなく、若者たちとロータリアンが一緒になってRYLAセミナーを行ったという感じを抱いています。』

今年度の春のRYLAセミナーまであと3ヶ月となりました。会員皆様のご協力よろしくお祈りいたします。

### ◆ 幹事報告 ◆

本日は1月の最終例会です。来月2月の予定を申し上げます。

第1例会(7日)の卓話は、金山会員のご担当です。

元堺市博物館学芸課長の吉田 豊氏による「千利休・与謝野晶子と堺」と題したスピーチを頂きます。

2月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。

第2例会(14日)では、地区国際奉仕委員会 前田 要之助委員長に「国際奉仕について(平和構築と紛争予防)」と題して卓話を頂きます。

第3例会(21日)の卓話は、松田会員のご担当です。

この日は、夜に酒味の会がごございます。

第4例会(28日)の卓話は、三木会員のご担当です。

地区行事といたしましては、15日(土)に地区チーム研修セミナーが、29日(土)に地区ロータリー財団補助金管理セミナーがあります。

以上です。来月もよろしくお祈りいたします。

### ◆ 広島城南ロータリークラブ ◆

4月18日(土)に広島城南ロータリークラブ25周年記念式典が行われます。各城南クラブを回り、大阪城南RCで締めくりでございます。気楽な気持ちで広島まで来て頂ければ嬉しく思います。

### ◆ ちょっと医学情報 ◆

コロナウイルス(CoV)について少しお話をさせていただきます。CoVのサイズは、ほぼインフルエンザ・ウイルスと同じで直径は100nmです。1nmは10万分の1mmですから、私がCoVとすれば1mmというサイズは17kmになります。大凡の大きさのイメージを捕らえて

頂きましたでしょうか。電子顕微鏡でみると球形ウイルスの表面には突起があり、形態が王冠“crown”に似ていることからギリシャ語で王冠を意味する“corona”という名前がつけられました。

普段皆さんが罹る「風邪」の原因として、4種類の人型CoVが知られています。ところが今回のCoVは、これ迄に無く種を越えて感染した事から、ヒトは免疫抗体を持っていません。その為に重症化の経過をとる事がある点が脅威なのです。

感染症の広がり易さを示す感染症指標として、基本再生産数(1人の感染症患者から二次感染する人数)があります。インフルエンザの基本再生産数は3~5人であるのに対し、この新型CoV肺炎は1.5±0.3人ですので、インフルエンザより二次感染率は低いのです。しかし基礎疾患として糖尿病・重症心臓病・慢性呼吸器疾患等々を持っておられる、特に高齢者は注意を要します。予防と治療については、ほぼインフルエンザと同様に考えて頂いて良いのですが、現在の所、特効薬もワクチンもありませんので、対症治療が中心となります。裸核のウイルス粒子はマスクを容易に通過しますので、マスクの予防効果はあまり望めません。インフルエンザと同様に特に食事の前には、しっかりと手を洗う事が大切です。重症化するのは20%といわれています。怪しい症状があれば早めに医療機関に受診される事をお勧めいたします。

### 卓話

1月31日<第5例会>

「夢の電池ー全固体電池ーについて」

大阪府立大学 大学院工学研究科  
物質・化学系専攻 教授 林 晃敏氏



私にとっての2019年のビッグニュースは、リチウムイオン電池の開発者の1人である吉野 彰先生がノーベル化学賞を受賞されたことです。リチウムイオン電池は充電

することによって繰り返し使用可能な二次電池の一つであり、1991年に日本で初めて実用化されました。小型で軽量、エネルギー密度が大きいという特長から、スマートフォンなどのモバイル機器だけではなく、電気自動車の駆動電源としてもその用途を

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

拡大しています。電池は正極、電解質、負極の3つの部材に大別されますが、市販されている二次電池のほとんどが電解質に液体(電解液)を用いています。電解質はリチウムイオン(Li<sup>+</sup>)を運ぶ機能と、正極と負極を短絡させないための隔壁としての役割を担っています。リチウムイオン電池では、正極と負極の電位差が4V近くなるため、電解質として水溶液は水分解が生じるため使用できず、より大きな耐電圧を持つ有機電解液が使用されます。しかし、電池は「エネルギーの缶詰」ですので、不具合が生じた場合には、電池に貯蔵していたエネルギーが一気に放出され、可燃性の有機電解液の存在も相まって、発火事故につながる恐れがあります。この電解液を燃えにくい固体状の電解質に置き換えたものが「全固体電池」です。全固体電池は、究極の電池形態として知られており、液漏れや発火の危険性がなく、安全な電池として期待されています。近年では、実用の有機電解液よりも速くLi<sup>+</sup>を移動させることのできる固体電解質が相次いで見出されており、急速充電可能な全固体電池の実現が望まれます。私はリチウム電池だけでなく、資源リスクのないナトリウムを伝導イオンとして用いる全固体電池の研究にも取り組んでいます。これから様々な課題の克服が必要となりますが、今後も優れた固体電解質の開発研究に邁進し、日本発の「全固体電池」の実用化と発展に向けて、大阪の地から貢献していきたいと考えています。

### にこにこ箱

1月31日(第5例会)

- 25周年のご案内に來させて頂きました。  
広島城南ロータリークラブ一同様
- 林様、卓話よろしくお願ひします。  
広島城南RCの皆様、ようこそお越しくださいました。  
中谷会員
- 広島城南RCの皆様、はるばる大阪へようこそ。  
浅井会員
- 大阪府立大学から林先生をお迎へして。  
先生、お忙しいところ卓話頂きありがとうございました。  
尾崎(敬)会員

1月ニコニコ合計 278,430円

### お知らせ

野村 篤会員 メールアドレス訂正  
正 info@a-ject.co.jp

(編集担当 石濱・田中)



▲メジャードナー 光信会員



▲広島城南RC様